



OUT THERE Itoshima 志摩園だより

福岡県糸島市志摩久家2527番地の2
TEL092-328-2121
E-mail shimakai@proof.ocn.ne.jp
<http://www.shimaen.or.jp>

特別養護老人ホーム志摩園
ショートステイ
デイサービス
ケアプラン

2014. 7. 31発行
社会福祉法人
志摩会
第44号

配食サービス
志摩園支援センター
小規模多機能型居
宅介護



平成26年6月7日 さなぼり交流会

水田に早乙女たちがそろい
田植えが始まる

15cmほどに成長した ヒノヒカリ の早苗を束にして水田に投げ込む
「苗打ち」をすると、いよいよ3枚の棚田に横一列に並び植えていく
浅くても深く植えても育ちは良くない
この塩梅が腕の見せどころ …

第6回さなぽい交流会

(於 志摩師吉：たからんたま志摩)

6月2日に梅雨入りして、
いい感じの雨模様。

準備万端で本番を迎えた
当日はまずまずの日和で
7年目の交流会が始まり
ました

五人目の早乙女！
ナニか？



田植えからひと月
元気に育って^{います}



リサイクルの
店で唐箕購入
秋の収穫で大
活躍を期待し
ています



子供たちの田植え体験が
大人気です

5月下旬
今年も地域の皆様に
しろかきや畔かきを
手伝って頂き、静か
にその時を待ちます

介護士に必要な資質 思いやりや相手のことなどをどう
思つかみたいな優しさが大事だと思います
高校時代に身につけてほしいこと 先生は授業中大
事なことは全部黒板に書いてくれますが、社会に出たら
黒板はないんです。だから自分でメモを取ることがとても
大事。様々な情報を他の職員が伝達してくれるとき、その
内容を書きつけることができませんでした。何が重要なホ
ントかがわからなし、全体をまとめることができませ
んでした。直ぐに書ける、大事なところを掴むことは高
校時代にしておくべきです。今、私のロッカーは貼り付けた
メモで一杯です。あとは何より高校生活を楽しんで
ください。



△イサービスの△利用者の前で体操や
お話をすることで、仕事に慣れました

六月十日、糸島農業高校で社会人講話が
開催され、全学年から「介護士」講座に参
加された十一名の生徒さんに、OGとし
て自身の経験を交えお伝えました。



D S C 第二志摩園
介護福祉士 川崎 美幸

「よつ」を先輩「に講師として

平成25年度事業リポート

【地域貢献活動】

法人独自の地域貢献として、3つの職員有志のチームが活動しております。今回はそのうち、げんき志縁隊と認知症啓もう（オレンジ）志縁隊の25年度の活動状況を報告します。

○ げんき志縁隊

志摩地区行政区でサロン活動のお手伝いをします。
活動の内容は、体操やレクレーション、忘年会、新年会等季節行事などを1時間半程度で行い、参加者の心身の活動レベルに合わせた内容も調整します。

25年度は年間19回、延270名程の皆様が参加してくださいました。

○ オレンジ志縁隊

主に認知症サポーター養成講座の講師として、市内の行政区公民館、事業所、小学校など9か所で活動しました。
延受講者は405名でした。

**ふれあいの居場所 “たまり場” 始動
(地域とのコラボレーションが成功しています)**

海徳寺様（志摩岐志）や地域の皆様の熱意で、平成25年7月から地域にふれあいの居場所ができました。

年齢は関係なく、どなたでもご利用できます。

- ・おしゃべりがしたい
- ・悩みを聞いてほしい
- ・ただゆっくりしたい
- ⋮



毎週金曜日 13時から17時まで海徳寺
たまり場を開いています
必ず誰かが待っていてくれているはず
好きな時間に来て好きな時間に帰れます
(おやつ、お茶代として100円頂戴しております)
※詳細は特別養護老人ホーム志摩園にお尋ねください

【配食サービス】

志摩園では志摩地域を範囲に実施しています。平成18年度にスタートして、25年度は丸8年にあたる年でした。年365日の配食ができ、昼食、夕食を中心にして、毎月40～50名の方々にご利用いただいているです。

栄養バランス等のとれた食事で体力を回復・維持して、体調を整え、質の高い生活を送って頂くとともに安心で安全な暮らしを確保できているか見守っています。

幸い、25年度は配食訪問時に緊急的対応をしたケースは一件も発生しませんでした。

配食ご利用者の要望として、

- ・(家にある)野菜を切ってほしい、温めなおしてほしい
- ・買物に連れて行ってほしい
- ・〇〇を買ってきてほしい
- ・テレビの映りを調整してほしい
- ・カーテンホックをつけてほしい
- ・おしゃべりがしたい
- ⋮

などのお声が増えています。

志摩園では、このような要望に極力即時対応できるように、地域の皆さんのご協力をお願いしたり、職員が配食訪問時以外に個別に訪ね、見守っていける法人独自のシステムを**せいかつ志縁隊**を中心に計画中です。

また、遠方に住んでおられたり、お仕事等で帰りが遅いご家族から、

“安否確認してくれるので安心しております”
という評価をいただいている。

about

(小規模多機能型居宅介護事業所)

たからんたま志摩



2頁のさなばり交流会記事でもご紹介のとおり、たからんたま志摩は今年7月で丸七年が過ぎました。

小規模多機能型は在宅介護を促進する切り札に目され、介護保険のサービスに制度化されて十年目を迎えますが、全国的には予想していた程には整備が進んでいないようです。

そのため、利用者ご本人、介護されるご家族、そして事業者にとつてもさらに利用しやすくするために、来年度の制度改定に向けて、現在国の審議会の場でサービスの見直しに向けた議論が行われています。

一方、特別養護老人ホームに入所を希望される人は増え続け、最近では全国で五十二万四千人におけることが公表されました。

単に、待機者が増え続けているから特養の数を増やすという考え方から、どうすれば特養が入所者の在宅復帰に向けた通過施設となるのか、終の棲家という認識を捨ててしまふくらいの発想の転換に挑戦してみたくなります。

前号で、本年4月の特養志摩園の入所待機者の状況をご報告しました。二百人を超える待機者の中、いつも七十人くらいの方がご自宅で特養入所を待つておられる状況です。

在宅で志摩園に入所待ちしておられる方々に対してもやらない、特養に入所された人だけにしか関らない、関れないということでおいのか存在価値を問われています。

入所された人を元気にして、再び在宅での生活に戻つていただく。そして次の待機者を受け入れて同様に元気になつて帰つて頂く：

また介護が必要になれば入所する：そんな在宅と老人ホームを状態に合わせて行き来できれば待機の必要はありません。

視点を長期に移せば、景色は自ずと変わってきます。

志は『志摩園入所待機者ゼロを目指す』です

今はまだ遠くばかり眺めてもスムーズに行かないし、足元だけ見ていては将来は描けません。

自立支援介護を徹底して志摩園の入所待機者を0にする、それには在宅に戻していくけるケアの力をつけていくしか王道はない気がします。

「在宅」という意味は持ち家に限らず、アパート住まいでも、高齢者向け住宅なども含めていますし、ここに、小規模多機能型サービスを利用しながら、在宅の生活を続けるという選択肢もあります。

3つの基本サービス

(1)お家に訪問します(訪問)

ご家族の介護が困難なときは職員がお宅を訪問し、服薬、トイレ、食事などの介助を支援します

(2)たからんたまに通って介護を受けられます(通い)

- ・通いの定員は一日15人までですから、比較的小人数で活動できます
- ・食事、入浴、運動などのほか、看護職員による健康チェック、健康相談もあります
- ・お米や野菜づくり、草花の手入れ、買物、散歩、その日の食事のおかず作り、それから何もしないことも含めて、自由にお過ごしできます

(3)泊まって介護を受けられます(泊り)

ご家族、ご本人の状態に合わせ、たからんたまに泊まるすることができます。

なじみの職員による介助がなじみの環境で受けられ、認知症の方の不安な気持ちも軽減できるはずです。

就寝から起床時間、ベッドや布団の寝具の選択等、できるだけご家庭の過ごし方に近づけるように配慮しています

■ご家族から

- 【評価】
- ・介護の相談もしやすく、すぐにアドバイスがもらえます
 - ・送迎時や連絡帳にも利用中の様子を詳しく伝え頂き、ありがたい
 - ・病院受診の同行も調整していただけるのでとても助かります

- ・送迎時間の変更や急の泊りの希望にも迅速に対応していただけます
- ・(ご本人が)「今日は楽しかった」と言ってくれるので安心しています

家族会があります～在宅介護の継続にはご家族同士の交流が力強い支えです

【活動】



ボランティアのお二人による押し花レクがとても喜ばれてています



日常的に小学生との交流トイレを借りに来たついでに花に水やりも…



小学校の総合学習ではお互い行き来しています

特養に入所するまで、さらに特養を退所できるようになつたとき、小規模多機能型を利用しながら在宅の生活を継続できる仕組があります。
たからんたま志摩と特別養護老人ホーム志摩園で「時々入所、ほぼ在宅」の関係を築けるよう深化しなければいけないでしょう。
そうして、地域包括ケア時代のもとでは、地域の事業者間全体でもこの関係づくりが求められます。

平成26年度
全国老施協
介護力向上講習会

(第2回) 志摩園の自立支援介護の取組

国際医療福祉大学大学院
竹内孝仁教授のご指導のもと、昨年度から取組みをスタートした度はいよいよ認知症ケアと食事ケアに取組んでいきます。

とりわけ、認知症にかかる問題は、今や個人で解決するものではなく、社会的に対応するべき問題へと我が国でも認識されつつあります。

さらに、これを当事者段階で解決したり、負担を軽減できるように志摩会職員は勉強しています。

5月の職員全体研修では、認知症の人を介護・支援する私たちが、まず理解することについて、発表がありました。

それは、
例えは、トイレではない場所で排泄してしまう認知症の人は、その人自身の中に

「それはしてはいけない」という矛盾する動きがあるということがあります。

（一とだ）

つまり、認知症の人自身もやりたくてやっているのではなく、誰かを困らせようとしてやっているわけではありません。

混乱し、徘徊したり、暴力的にふるまうことなども、ある状況になつた瞬間にそれ以外選択しようとなく、本人もそれはしてはいけないことだと感じながら、やむにやまれず、その行動をとつてしまふほかはない

【共にある】関係
認知症の人の、この苦しみを私たちが分かち合えることが大事で、これが

・相手の身になつて介護する
・相手の状況に対しても丁寧に介護する
これは身体介護にも認知症介護にも求めたいと思います。

『職員の質の向上が、ケアの質の改善に直結することを肝に銘じています』



河合義昭



馬原亜紀 竹内先生 木龍美幸 李先生

『目に見えて、心身の状態が向上していることを実感するケアにこだわりたい』



貞包裕也

思いやりを大切にして、私も楽しみながら学んで実践です

皆様が笑顔で過ごして頂けるよう取組みます

今年は東京と福岡のダブル受講。地域包括ケアのスタートが目前の今、私たちがその役割を果たすため認知症ケアの理論をしっかり根付かせる使命を感じます。

連載
企画

いろんな職種から見た 介護の仕事

(第2回)

職員リレー



志摩会に働く170人余りの職員の皆さんに仕事や職場、仲間への思いなどを語ってもらっています …

ご利用者のお顔を拝見しながら、お声を聞きながら調理して、各職種につなぎます



和田 洋子
(特養 調理師)

◆特養の厨房勤務9年目になります。
老人ホーム入所者の皆さんの

お食事の他にショートステイ、デイサービスセンター志摩園、第二志摩園、生きがい健康づくりデイサービス、そして配食サービスなど多い日は一日600食程度提供します。

◆お食事形態も様々です。
“こういう理由なのでこの食事形態でお願いします”というように、栄養士、看護師、介護職員などの申送りをもとにおひと

りおひとり100%対応で安全で美味しいお食事を時間どおりにお届けできるよう、日々奮闘しています。

◆スタッフみんなで協力したい、お互いをカバーしたり、フォローしたりして

“間に合った！”です。

◆料理番組やグルメ旅を見るのが好きです。大食い番組はもっと大好きです。



河村 篤子
(特養 機能訓練指導員)

◆私がこの仕事を続けられたのも、人生の大先輩から思いもかけない言葉に感動してきたからです。それは身体に障害を

お持ちの男性で、ある日ポツリと「自分は生かされているだけでこの家に迷惑ばかりかけている。身体は動かんけど何かできることははあるだろうか。一人の人間として生きたい」というものでした。

◆機能訓練を担当していますが、時には消極的な方もおられ、その理由を見極めるのに他の職種から情報をもらったり、私からお部屋に戻られた後の

見守りなどを依頼しています。反対に頑張りすぎる方もおられ、ヤル気を削がないよう声掛けしながら、お一人お一人が楽しく、長く続けられるよう関りたいと思います。

◆家庭では、子供にも手が離れつつあるので、自分磨きをしたい。人間味溢れる山本周五郎作品で視野を広げたい。



三島 有貴
(特養 介護職員)

◆高校を卒業して直ぐに志摩園で働かせて頂き、今年で3年目になります。

◆なぜ介護の仕事を選んだかというと、将来両親が介護が必要になったとき、私が介護をしたいと思ったのがきっかけです。

◆働き始めた頃は何もかもが初めてで、私にできるのか?と不安が沢山ありました。やる前から諦めてはいけない、まずはやってみる、何でも挑戦するという目標をもって先輩

方に指導して頂き、ここまで成長することができました。

◆まだまだ未熟なので、今以上に知識や技術を身につけられるよう努力して、そして介護福祉士になります。

◆大変と思うこともありますがご利用者の笑顔や感謝の言葉をかけられたとき、やりがいを感じます。

だんちゅうくらぶ
7月9日 男厨喰楽部



料理教室



可也公民館事業の男性料理教室を志摩園の管理栄養士がお手伝いさせていただきました。今年のテーマは“過食を防ごう 身体に良い計算された料理”です



Info

5月10日 志摩園創立記念演芸会



職員オールキャストの演芸会は“練習していないクセにおもしろかった”と評判… 本番に強いのでしょうか？

6月18日 糸島消防本部のご協力で救急講習



救命士から4グループでAEDの操作や熱中症・窒息時の対処法について実技指導

いよいよ志摩園夏まつりが近づきました。 Everybody Out There !

平成26年8月2日(土) 17時40分開始予定 於 特別養護老人ホーム志摩園駐車場

★次号は10月末発行予定です

【編集後記】 前回に続いてポールの話題を… その時、私はトイレも済ませ、自販機でお茶も買って、いよいよ国立競技場外苑のポールの公式グッズ売場列の最後尾につきました。先客は200人くらいでしたか。

販売開始までの2時間半、本や書類に目を通しながら待機していると、10時40分過ぎポールの“Let Me Roll It”がそれとなく聞こえてきて、屋外ステージならではの音もれにちょっと得した気分になりました（そのときはサウンドチェックが始まったんだと勘違いしていました …というのは、歌はその1曲で止みました）。

グッズは昨年に比べると随分スムーズに買えたので、一旦ホテルに戻り、再び夕方4時頃競技場に来ると、なんだか騒然とした雰囲気に… この後は報道のとおり。

翌週の大阪公演も中止となつたため、5月24日はたまたま帰省していた孫娘たちと佐世保市内のテーマパークに日帰り旅行ができました。

私と1歳4か月の孫娘は初めて行った場所。天気も素晴らしい、屋外で活動するにはもってこいの日でした。七変化する孫娘の表情から、彼女なりにいろいろな刺激を受けているのだろうとこちらもうれしくなります。

今回のツアー中止は残念でしたが、その後ポールの体調も回復し、再来日を約束してくれているので、またまた（チケットが手に入るかヤキモキしながら）楽しみを後に回すポールはさすがです。

娘たちと思いもかけない楽しい一日も残してくれたポールに感謝！ (A・K)